

北区会 自由な趣味の会

第50回折り紙の会 活動計画

: 2022年 2月23日(水) 13時~16時

1. 参加者と場所と時間

時間	場所	参加予定者
13時~16時	タンポポセミナー	みどり講師・公子講師・山下講師: 鬼村信行、佐伯義昭、前田仁子、宮内久子、高橋毅、高橋英子、徳山忠子、山川端子、才田章子、高見幸子、小野淳子、中川豊、中川多賀子、山本照子、敬称無

折り紙の会 はじめに。

新型コロナウイルスの感染拡大が高齢者にも及び始めた・・・などTVや新聞に今までと違う見出しや記事になってきました。第五波の約3万6千人は今までの感染度数を大幅に増えています。しかもオミクロン株が年代が高くなるほどに重症化の傾向、つまり我々世代は気つけ、より気つける必要があります。2回の注射も効き目が厳しくなり、何とか3回目の注射が大切のようです。当方も3回目接種の予定は 2月15日頃によろりますが、少し目途がつかしました。神戸市iでは全ての施設の使用中止にはいたっていません。今回も守るべき マスクと消毒は継続していきましょう。会ではどうしても 密になりますのでよくよ

2. 活動概要

I 鶴

六角返しとは？



II、福寿草の継続と別課題 = 講師より



折り紙が持つ幾何学的な性質から、数学の一分野としても研究されている他、工学や宇宙工学分野でも構造物の収納・展開の手段として活用されている。
その効果効用：想像力、創造力、数学的・幾何学的概念を与える、物の順序、正確性、楽しさ、美的情緒を養う、手先の運動神経 つまり脳トレにもっとも簡単に何時でもできる良さで、何よりも日本で一番庶民伝統作品です。

* 折り紙の歴: は平安時代(794~1185)後期に、貴族達が畳んで懐中に入れる薄い紙(鼻紙や和歌などの料紙)や紙入れ、小物入れ、化粧品包みなどの厚い紙製の「たとうがみ」があり、鎌倉時代になると、幕府は貴族社会との交流の為に、伊勢家や小田原家に有職故事(調停や公家の管制や行事の慣行に関する知識)を学ばせました。当時紙を折ることはすべて「折形」でした。上流の武家社会で贈答品の包みや婚礼の儀式の席の飾りなどの折り紙が整備されていく一方、儀礼折り紙の余儀として「鶴」「舟」などの 遊戯折り紙 が作られるようになったと考えられる。(「おりがみ100」)より~

この会はどの区会の方も自由に参加頂けます。お知り合いお友達もお誘いください。

申し合わせ及び注意事項

- 1) 欠席者は事前に幹事「道満」へ連絡する
- 2) 諸道具は自身で持参、その服装などの準備もお願いします
- 3) 諸道具の購入などは参加者負担(500円)をお願いします。

次回開催:

文責 道満

第50回折り紙の会活動計画

開催日	令和4年 3月 30日(水)	13時~16時
場所	しあわせの村 内	未定

